

あなたの声を町政に

一般質問は、一人30分
一問一答方式で行いました

問 小学校統合の見直しを

片山元八郎議員

答 現時点では見直す考えはない

Q 来見小学校の保護者から「統合三和小学校へ行かせたい」という切実な相談が2件あった。児童の送迎は、保護者が責任を持つということ、通学区特例を設けてはどうか。

A 教育長
学区外通学が認められるのは①地理的事由②身体的事由③「いじめ」の被害防止などに限定される。

Q 井関定住団地の予約状況と就学前幼児・小学校児童の実態把握はどうか。

A 教育長
現在、14区画、30名の入居予定と聞いている。こどもは8人で、0歳から5歳までが6人。6歳から12歳までが2人と聞いている。

Q 教育委員会体制も一新された。学区外特例、来見小の統合三和小学校への早期編入を考えると。学区外特例はどうか。

A 教育長
3・4年生だけが複式学級である。かつて、文部省時代当初は、学校教育課・生涯学習課の二課体制であった。生涯学習課を復活すべきでは。

問 教員配置の充足を

松本彰夫議員

答 県教育委員会に要望している

Q 中学校の技術教員は平成21年度から町内で1名しか配置されていない。その教員が病休をとった時は、非常勤講師が4校兼務という異常な状況が続き、豊松中と油木中は、選択技術が途中から中止となっている。このことによる授業への影響と今後の対応策は。

A 教育長
技術教員の配置は質問のとおりである。9月からは、本務者1名、非常勤講師1名の2名体制で行っている。県教育委員会に要望しているが、県内の技術教員の本務者は少なく、定数内の臨時教員の配置は避けられない。欠員の時は、管理職や、他の科目の教員が対応

Q 異なる状態とと思うが、教員の確保はどのように取り組むのか。

A 教育長
県が中心となり、町が協力して取り組んでいる。ハローワークにも申し込み、人材確保に努力しているが、県の定数が定められているので難しい、時間制の変更をしながら行ったが、生徒にも迷惑をかけた。

Q 引き続き要望する。教職員の健康管理に向け、衛生委員会・衛生推進者の設置とその活動状況は。

A 教育長
衛生推進者を全校に配置している。21年度は衛生委員会は10回行っている。定例化の推進を図る。



「だんご汁」を食べ戦中をしのぶ三和中生徒(H22.8.6)

問 学校ICT環境整備の入札に問題があるのでは

横尾正文議員

答 今後は適正に努める

Q 昨年の町立小中学校システム構築の入札に問題があるのではないのか。またなぜソフトを指定したのか。

A 教育長
数社からデモンストラーションを行ってもらい、審査の結果評価の高いソフトを選定した。また情報センターとやり取りできるソフトである。

Q このソフトはパソコンソフトのことだが、一番問題なことは、参考の計画書を作成した業者Aが、指定ソフトを発売したメーカーの代理店であり、前にも言った業者Aの協力業者である。つまりこの業者A主導で入札が行われているのではないかということである。

A 教育長
機器のいいものを選定するという段階を踏まえて行っているので、適切である。

Q この業者Aに問い合わせたことが間違いである。別の方法としては、別のITコーディネーターに問い合わせるとか、他の市町村を調査してみるとかできないのか。

A 教育長
今後は、調査を十分行って、より適正な入札業務に努めていく。

問 学校の猛暑対策を早急に実施すべきでは

寄定秀幸議員

答 エアコン・扇風機を計画的に整備をする

Q 歴史的猛暑の中、授業を受ける児童・生徒の健康が心配された。エアコン導入・扇風機設置など、学校の猛暑対策を早急に実施すべきでは。

A 教育長
教室への扇風機設置・保健室のエアコン導入も含め計画的に整備をしていきたい。

Q 大変貴重な遺跡群であり、保護・調査・公開などが重要である。①発掘調査に対する今後の取り組みは。②リニューアルされた歴史民俗資料館の周知を図り、有効活用すべきでは。③帝釈峡遺跡群発掘調査50年の記念行事を企画・提案、実施すべきでは。

A 教育長
①発掘調査費の支援と併せ、出土品の展示や発掘体験教室・現地説明会の開催など調査結果の周知に取り組んできた。今後も発掘調査の継続とともに活性化に繋げられるよう取り組みたい。

Q 観光資源として、町の活性化のため積極的に活用すべきでは。

A 副町長
観音堂洞窟遺跡の発掘調査に携わった経験もあり、貴重な遺跡であると認識している。下帝釈峡石灰岩地域の自然の織りなす景観と併せてPRに努め、町の活性化に取り組みたい。



柏岩橋現地調査